

97 ページ上 モジュール結合度の表

下記の行を表の最下行に追加してください。

⑥内容結合 他のモジュールの変数を直接参照します

104 ページ 表の最下行 欠陥除去

すべてを下記に変更してください。

欠陥除去	レビューミーティング終了後に、成果物の作成者は抽出された欠陥の除去や改善方法を検討し、成果物を修正します。
------	---

105 ページ (2) 発見したエラーの訂正状況把握と督促

“である” 調になっていますので、下記のように“です。ます” 調に修正します。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 文目… (修正前) 行う。 | (修正後) 行います。 |
| 2 文目… (修正前) しまう。 | (修正後) しまいます。 |
| 3 文目… (修正前) 確認する。 | (修正後) 確認します。 |
| 4 文目… (修正前) 督促する。 | (修正後) 督促します。 |
| 5 文目… (修正前) 任せる。 | (修正後) 任せます。 |

105 ページの下から 3 行目

変更前：…ソフトウェア開発技術者試験の午前問題では、…

変更後：…システムアーキテクト試験の午前Ⅱ問題では、…

106 ページの上から 1～2 行目

変更前：…結合テスト・システムテストの 3 つを…

変更後：…結合テスト・システムテストと運用テストの 3 つを…

196 ページの下 試験センターによる解答例

すべて、下記のものに差し替えてください。

設問 1

業務名：在庫管理業務

理由： 営業所が利用しているシステムが異なると，商品の融通ができなくなるから

設問 2

(1) ・ 本社システムのトランザクションデータは新システムでは読み込めないから

・ 本社システムのトランザクションデータは互換性がないから

(2) 業務名：①②・売上計上業務 ・商品補充業務

理由： ・自販機は HT と通信すると売上情報をクリアするから

・売上情報が 1 回しか取得できず，補充数が算出できないから

(3) 業務名：手数料支払業務

理由：本社で一括して行うから

設問 3

(1) 12 月の締日の翌日から末日までの自販機のトランザクションデータ

(2) 異なる点：1 日遅れて発注されること

理由：営業所の注文を新システムに転送するのは，10 時以降だから

229 ページ 上から 2～5 行目

上から 2 行目の後半から始まる<委託先は、納品差戻しとなったソフトウェアの修正が必要ですので、委託先ステータスは“委託開発中”になります。したがって、上記▲と★の組合せが正解であり、状態遷移の矢印の終点は、状態番号“13”です。>をすべて削除し、下記に差し替えてください。

問題文〔現在の業務委託管理に関する業務の概要〕(4)1～3 文目 (035～039 行目) は、以下のとおりです。

納品受領：委託先は、開発作業が完了すると納品する。委託責任者は、納品物を受領し、確認を行う。●注文書に記載された納品物と一致していれば、承認して納品年月日を管理システムに登録し、一致していなければ差し戻す。納品物を差し戻した場合でも納品の履歴は残す。●納品物の内容、品質などの確認は、次工程の検査以降で行う。

上記 2 箇所●の下線部より、納品物の確認とは、注文書と納品物の一致を検査することであり、納品物の内容・品質を検査することではありません（図 2 には“納品入力”というイベント名があるので、納品書や納品入力画面のハードコピーなどと、注文書及び納品物を照合する手続きがありそうですが、その記述が問題文にはないので、ここでは注文書と納品物の一致のみを検査することを想定します）。

注文書と納品物が不一致になる典型例は、例えば、注文書の注文数が 10 に対し、納品物が 8 のように、納品数が注文数よりも少ないケースです（多いケースは想定できませんし、注文書に記載されたものとは違うものが納品されたケースは、少ないケースに該当します）。納品差戻しになるケースでは、委託先は不足している納品物を作成しなければならず、委託先ステータスは“委託開発中”になります。したがって、上記▲と★の組合せが正解であり、状態遷移の矢印の終点は、状態番号“13”です。

506 ページの上から 4 行目

変更前：…設問イは 1,200 字：50 分、設問は 800 字：

変更後：…設問イは 1,200 字：50 分、設問ウは 800 字：

以上